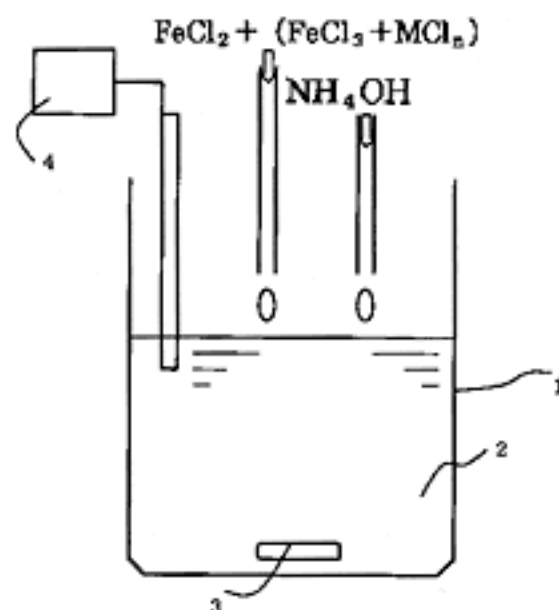


フェライト微粒子の製造方法

概要と特徴

水溶液中からフェライト微粒子を生成し回収する製造方法。2価の鉄イオンを必須成分として含み、反応水溶液のpHが中性に近く、温度が室温前後あるいはそれ以下の条件で酸素を流し込み、酸化反応を行うことによりフェライト微粒子を製造する。フェライト微粒子製造の製造省資源化および省エネルギー化を行うとともに、温度やpHなどの環境条件に対して敏感な物質の存在下でも、その物質を変質させることなくフェライト微粒子を生成させることを可能にした。

本発明の一実施形態



1...容器、2...純水水溶液、3...スターラ、4...温度/pHコントローラ

用途

- (1) 金属製品
- (2) 電磁吸収体の製造

技術移転

- (1) 形態 特許実施権供与
- (2) 相手先 企業規模不問
- (3) 地域 国内・海外のいずれでもよい

実用化・情報

[試作・実験] 完了
 [製造・販売実績] 無
 [技術情報の提供] 公開特許公報 技術資料
 [連絡先] (財)理工学振興会
 〒226-8503
 横浜市緑区長津田4256 東京工業大学内
 TEL.045-921-4391 FAX.045-921-4395

特許等

出願人：(財)理工学振興会
 発明者：阿部正紀、西村一寛
 出願日：2000年10月17日
 出願番号：特願2000-317217
 公開日：2002年5月9日
 公開番号：特開2002-128523